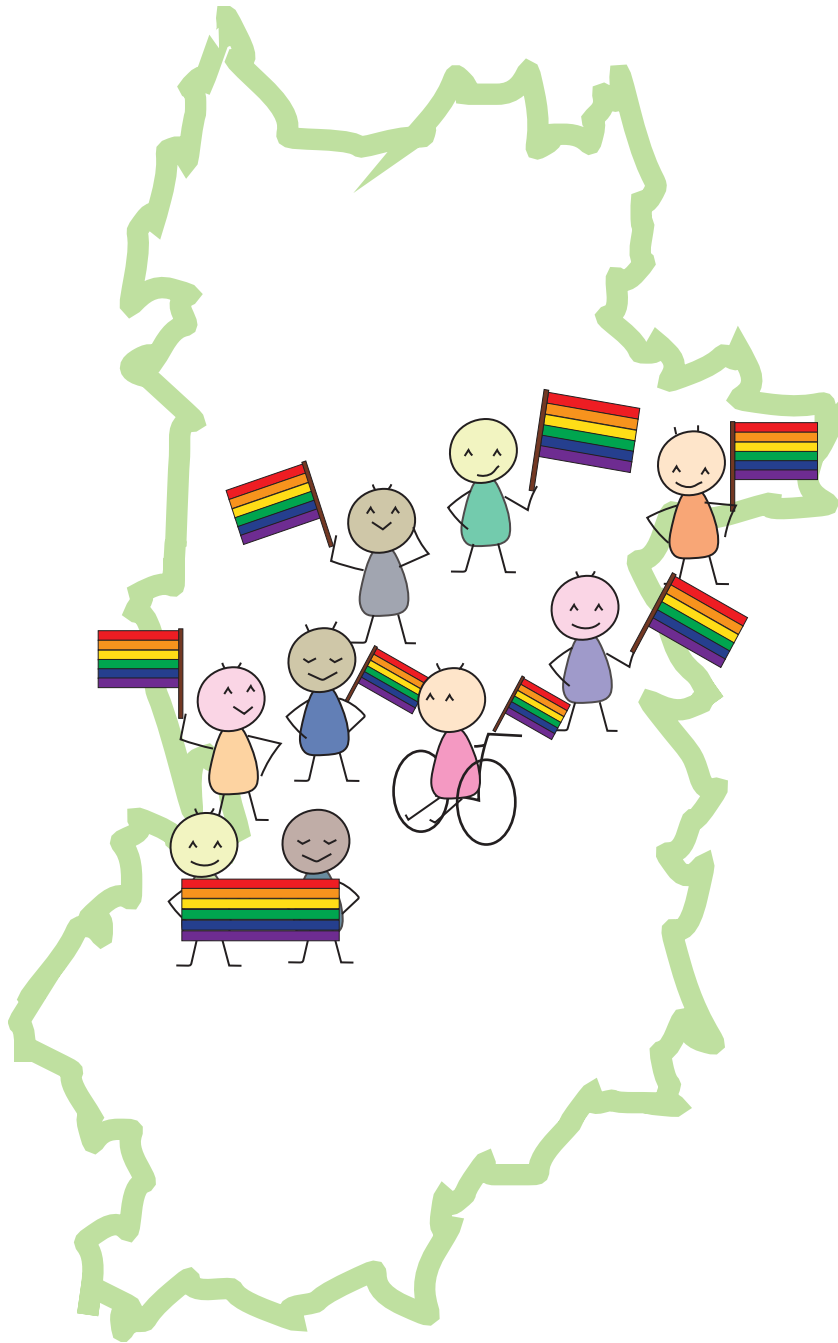


性の多様性を

知って考えるためのヒント集

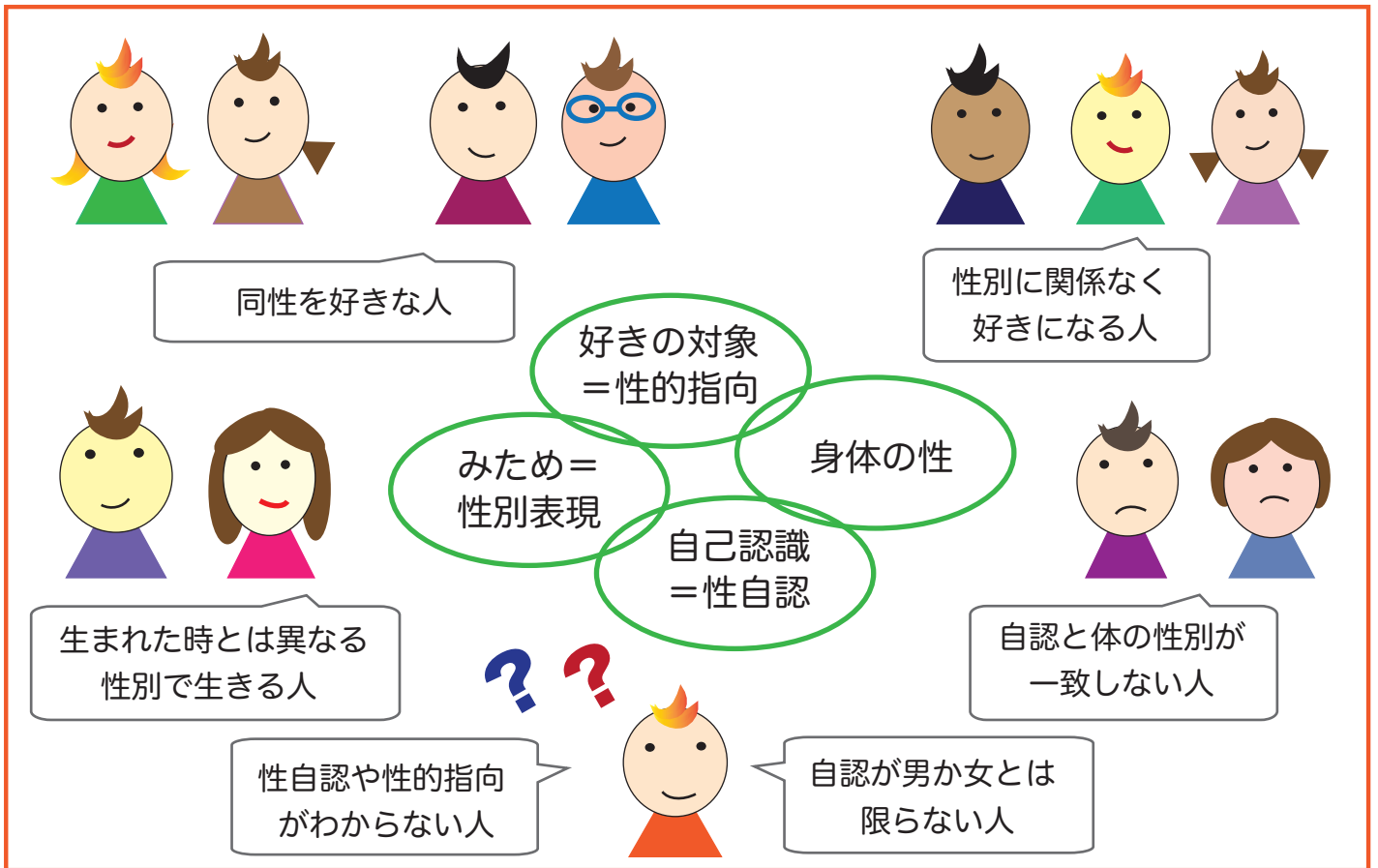
～視点・家族観・幸せ観・いろいろの幅を広げよう～



性別、性自認、性別表現、
性的指向等にかかわらず、
誰もが自分らしく暮らせる
まち・環境に！



性は多様～性にはいろいろな要素がある～



L	レズビアン	同性に魅かれる女性
G	ゲイ	同性に魅かれる男性
B	バイセクシュアル	同性にも異性にも魅かれる人
T	トランスジェンダー	出生時と異なる性別で生きる人
Q	クエスチョニング	わからない人 決めない人
X	Xジェンダー	男か女のどちらかと認識しない人
A	アセクシュアル	性愛対象がない人

性のありようは多様で複雑です。自分の性別をどう認識しているか（性自認）、どの性別に魅かれるか（性的指向）、自分らしいと思う表現もさまざまです。多様な性のありようで生きている人は、ずっと昔から、どこにでも、奈良県にも暮らしています。

性についてどう認識し、誰とどのように人間関係を築いていくかということは、その人の生き方や生活・人生に大きくかわる大切な要素です。

その人の性自認や性的指向は外見ではわかりません。その人の性を決めつけず、認める・認めないという向き合い方ではなく、ありのままの、その人の「自分らしさ」、性自認、性別表現、性的指向、アイデンティティを尊重してください。

※性的マイノリティ：性自認、性別表現、性的指向などにおいて多数の人とは異なる性のありようをもつ人。
「LGBTQ」「LGBTQ+」「LGBTs」なども性的マイノリティの総称として使われている。

※SOGI / E (SOGIE)

= 性的指向 (Sexual Orientation) ・ 性自認 (Gender Identity) ・ 性別表現 (Gender Expression)

奈良県の性的マイノリティの人たちの声

修学旅行の夜の恋バナ、好きな男の子がいなかった私は全然楽しくなかった。

22歳の時レズビアンの人と出会い、好きな女性のことを話していたら、本当に楽しかった！この時、自分は同性が好きだってことにはっきり気付いたなあ。

自分の中から生まれる『好き』という素直な気持ち、大切にしていきたい！



女の子に恋愛感情を持ったことがなくて、中学生の頃から同性が気になっていたりしていた。

はっきりと、男性が好きだということに気づいたのはちょっと遅めで大学生の頃。こっそり読んだ本で、同性愛者・ゲイという言葉を知ったのも、その頃かな。

そのことを悩んだことはなかったけど、「男らしさ」を押し付けられるのが嫌だった。



初恋は幼稚園の頃に近所の男の子でしたが、初めて付き合ったのは小学校の頃に、相手は女の子でした。ここ数年は女の子ばかりに恋をしてきましたが、また男の人を好きになることもあるかもしれません。

自分の定まらなさに不安になることもありますが、好きになった気持ちをないことにはできません。



自分ではずっと男の子だと思っていたから、自分が女の子として生まれたのだと気づいた時は、本当にショックだった。以来、バレないように自分を隠して生きてきたけど、ようやく[自分]として生き始めたのは、26歳。

色々あったけど大好きな女性と結婚できた。今は、『必ず自分らしく生きることはできる』を実践中！



奈良で生まれ育ち、今は生まれたときの性と異なる「女の人」として暮らし働いています。

昔を知る人も、知らない人の繋がりもかけがえのないものです。そう思えるのは、奈良で暮らしていた頃に、温かく見守ってくれる人達がいたからです。

性の揺らぎは誰にでもあります。決めつけず、見守り、ときに耳を傾けて下さい。



自分が男なのか女なのか…、性別認識自体があまりない。男でも女でもないように思うし、中性だと感じることもある。ずっと自分が何者かわからず、LGBTという言葉を見るたびに、自分はこの中にもいないのだと思っていた。

今は、わからなくてもいいと思える仲間がいる。自分が何者かということよりも、何をするか、どう生きていくかが重要かな。



◆子どもたちの夢と未来を守る

すべての年代を通して、性の多様性に関する肯定的な情報と安心できる環境が必要です。多様な存在やちがいを尊重できるような関係づくりと、自尊感情を育む教育・環境が求められます。



学校

診療所

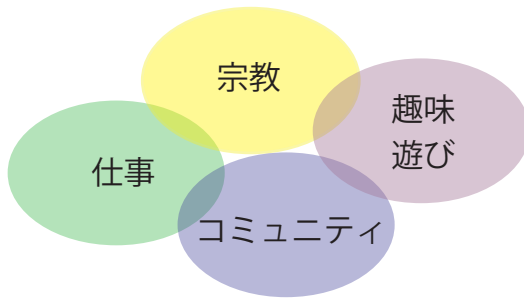
現場の声を聞こう

訪問介護

有料サービス

施設

友人



配食通販

カフェ

訪問入浴

ホテル

〈みんなで作ったイメージ図〉

ニーズは？

足りないものは何だろう？



今、ここにいる人たちの話やで

認め合うとか受け入れるとか寛容とか・・・上から目線やなあ



ボランティア

◆地域で安心して暮らす

マイノリティかどうかにかかわらず、地域にはさまざまな人が共に暮らしています。ちがいや困り事もさまざまです。マイノリティの視点でまちを見てみたら、誰かの生きづらさが解決されたなら、きっと、みんなにとっても、暮らしやすいまちになることでしょう。

その人にとって大切な存在と、地域で暮らしていくことができるように、住む場所やさまざまな支援制度、子育て環境などが、家族の形やパートナーの有無に関係なく、整備されることが必要です。

地域性と生活視点を大切に



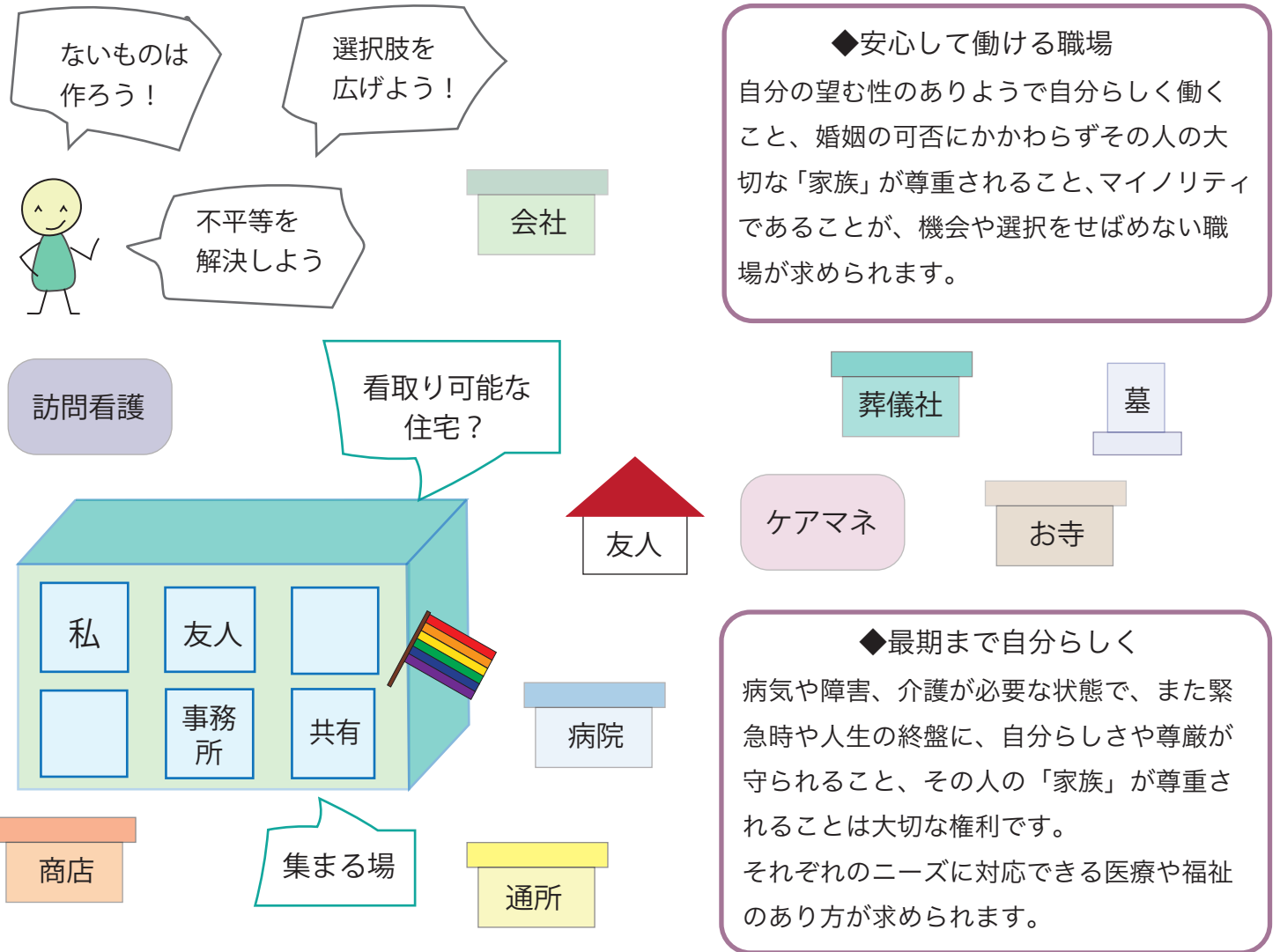
安心して来られるまち



いつでも帰れるまち

出て行かなくて良いまち

※「男性」「女性」、患者さんやお客様、子ども、高齢者、障害のある人達、犯罪被害者、避難者、学校、職場、家庭内・・・。
見えないだけで、どこにでも、L/G/B/T/Q・性的マイノリティの人たちはいる（かも）。



◎チェックリスト（学校で、職場で、まちの中で）

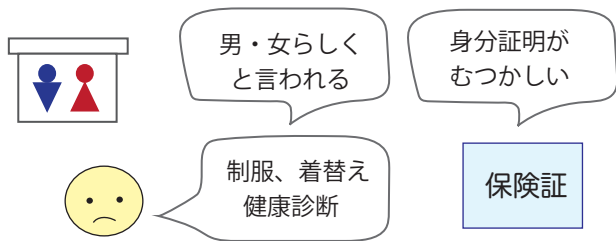
- 性の多様性・性的マイノリティの課題が人権課題であると宣言・明記されている
- 性自認・性別表現・性的指向に関連した差別的取扱いを許さないことが明示されている
- 窓口でトランスジェンダー等、書類の性別と外見が異なる人に配慮した対応ができる
（書類の性別欄、氏名の呼び方、本人確認の方法など）
- 住宅の入居要件が多様な家族形態（同性カップル等）に対応している
- 同性パートナーを家族として対応できる
- 性別に関係なく使える設備（トイレ、更衣室、シャワー室など）がある
- 性別の取扱いにおいて、性自認を尊重した対応が可能（施設利用、制服など）
- 性の多様性を肯定的に伝える保育・教育を実施している
- 職場（企業、行政機関、医療・福祉・学校等）で性の多様性と人権に関する研修を実施している
- 性の多様性・性的マイノリティに対する差別解消のための啓発のとりくみがある
- 性自認・性別表現・性的指向に関する相談に対応できる
- 図書や資料の中に、LGBTQ や性の多様性に関する書籍や資料がある
- DV・性暴力被害者等の支援において、男性や性的マイノリティである被害者に対応できる
- 性の多様性に配慮した避難所運営など、災害時マニュアルが整備されている

誰もが自分らしく生きられるまちのために～いのちと生活と尊厳を守る～

①困りごとを知る（声を聴こう）

②なぜ困るのか考えよう

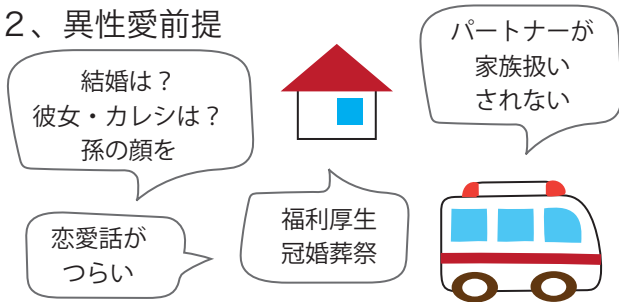
1、身体（書類）性別で扱われる



1、性の多様性への認識不足

- ・性自認や外見が身体性別や書類とは異なる人がいる
- ・自分の思う性別で暮らせない
- ・身体を人に見られることが苦痛
- ・男か女の2択を迫られがち

2、異性愛前提



2、「好き」や家族の多様性への認識不足

- ・好きになる相手は異性とは限らない
- ・異性愛者であることが前提のシステム
- ・同性パートナーは制度の対象外
- ・結婚や妊娠前提、異性が好きな前提の会話
- ・隠すために異性愛者のふりをする葛藤

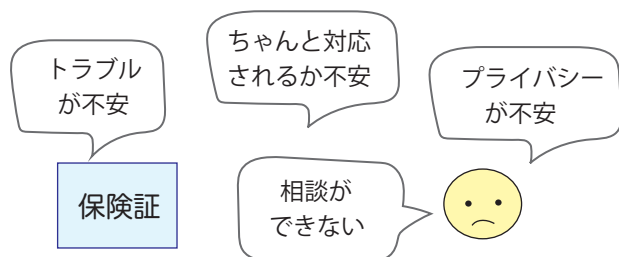
3、自己否定、生きづらさ



3、性的マイノリティに否定的な環境

- ・否定される経験による自尊感情の低下
- ・ストレスや苦痛
- ・肯定情報、教育（性の多様性）の不足
- ・ロールモデルがない（見えない）
- ・自分らしい生活（経験）ができない

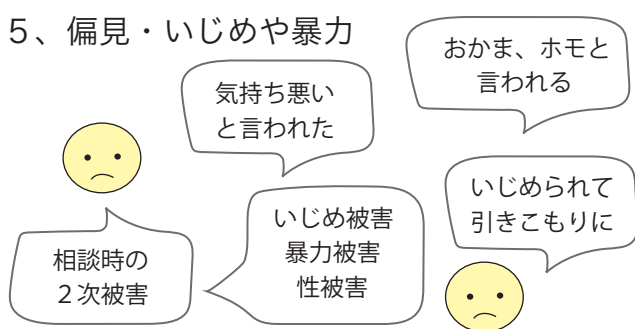
4、アクセス（利用・参加）の困難



4、安心の不足（環境・情報）

- ・マイノリティは想定外のシステム
- ・選択肢がない（不公平・不平等な環境）
- ・安心できる対応かどうか、情報がない
- ・相談先がない、利用できる資源がない
- ・ニーズがわからない〈現場側〉

5、偏見・いじめや暴力



5、性の多様性に対する偏見

- ・多様性や人権に関する認識の不足
- ・性の多様性に関する否定的な環境
- ・性別役割（男らしさ・女らしさ）への固定概念
- ・性的マイノリティに対応可能な支援の不備（DV・犯罪被害、人権相談、災害時）

⑤どうなった？（評価）→①へ戻る

③どうしたらいいか考えよう → ④実行してみよう！

(1) その人の性自認・性別表現を尊重

- ・その人を尊重した性別の対応
- ・見た目や声で性別を決めつけない
- ・トイレ、制服、髪型などの希望を尊重
- ・「男/女らしさ」より「その人らしさ」を



願いは公平性

自分らしい髪型や服装をする

自認の性別で働くこと

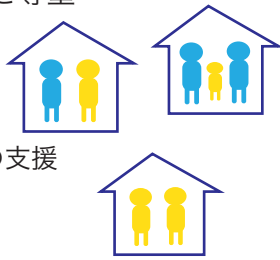
安心して暮らせること

好きな人と共に生きること

暴力を受けないこと

(2) 多様な家族のかたちを尊重

- ・同性カップルも家族
- ・異性愛者前提で接しない
- ・同性パートナーや家族への支援
- ・福利厚生や互助会



ご主人、奥さん

お連れ合い
パートナー

彼、彼女

恋人
つきあってる人

お父さん
お母さん

保護者、ご家族

(3) わからなくて良い、でも否定しないで

敬意と
尊重

人とちがって
いてもいい

いろんな人が
いるよ

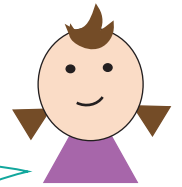
わからないから
教えてね



(3-2) もし相談があったら・・・

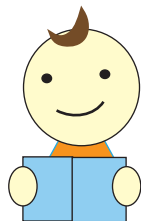
- ・まず話を聞く（傾聴）
- ・何に困っているか？
- 困りごとの解決を

勝手に
人に話さない



(4) 安心につながる情報発信

- ・多様性を意識した言動
- ・本や資料、ポスターの設置
- ・「幸せ観」「家族観」を広げよう
- ・肯定メッセージの発信



(4-2) 安心安全で公平な環境に

- ・男女役割、書式などの見直し
- ・使える選択肢を増やそう
- 制服、トイレ
- ・話せる場を



(5) 学習や支援の場を増やそう

- ・職場や地域で学習会
- ・通信やポスターなどの活用
- ・いじめ、暴力・DV 被害の支援体制
- ・避難所など、マイノリティを想定した防災対策



(5-2) 関心を持って！

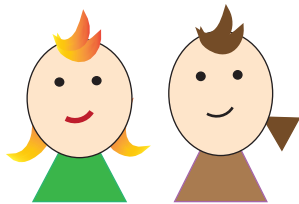
- ・ニュース
- ・その性別欄必要？
- ・国や自治体の対策
- ・いじめ、セクハラ、パワハラ防止



シミュレーション!

あなたならどうする？

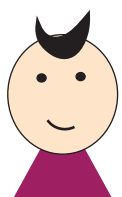
こんな場面で
何て言うかな？



家族が
同性の恋人を
連れてきた



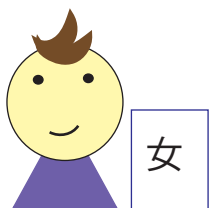
孫が
「おかま」と
いじめられた



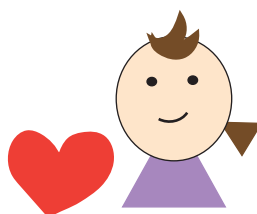
彼女いるの？
と聞いたら
「僕、ゲイなんだ」
と言われた



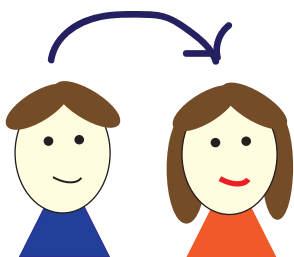
宴会で同僚が
面白おかしく
女装でウケ狙い



窓口で
外見は男性
書類では女性



同性の友人から
告白されたら？



職場で
男性職員が
女性として
働きたいと希望

トランス女性
排除



自然に
反する

マイノリティへの
ヘイト発言に
どう対抗する？

※おかま、ホモ、レズ、オトコオンナなどの言葉は、男（女）らしくない人や性的マイノリティの人たちに対する侮辱・否定に使われ、悪気がなくても当事者を傷つける可能性がある表現です。

制作：性と生を考える会（奈良）

<http://seitosei.wixsite.com/website>

e-mail nakatah@kih.biglobe.ne.jp

構成・デザイン：タロウ

発行：2021年6月



理解より尊重、
思いやりより敬意、
特別扱いではなく
選択肢と公平性を